



応援します！家族責任を持つ女性研究者



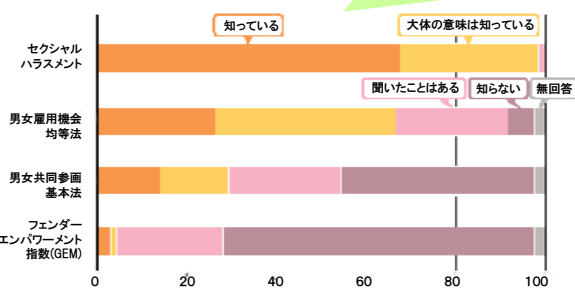
森林総合研究所 エンカレッジモデル FFPRI Encourage Model

森林総合研究所は、文部科学省科学技術振興調整費女性研究者支援モデル育成事業「応援します！家族責任を持つ女性研究者」（平成19～21年度）が採択されたのを契機に、男女共同参画室を新たに設置し、男女共同参画の推進とワーク・ライフ・バランスの実現を目指して、エンカレッジプログラムを進めています。

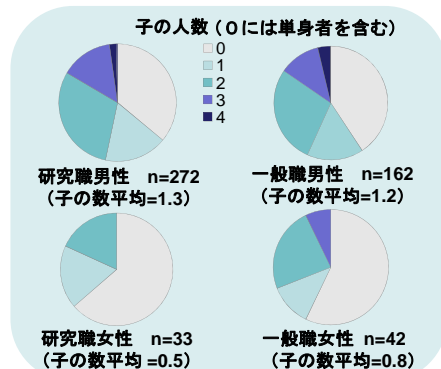


職員構成: 研究職483(50)名(10%)、一般職827(86)名、技術専門職25名、計1335(136)名 (内は女性)
沿革: 明治38年農商務省山林局林業試験場として目黒に発足、昭和58年つくばに移転、同63年森林総合研究所に名称変更、平成13年独立行政法人となる。同19年林木育種センターと統合、同20年森林農地整備センターを承継。

昨年のアンケートから、職場の男女共同参画に関する知識が十分でないことや、女性職員の子の数が少ないことがわかりました。



▲所内男女共同参画意識調査



▲職別別男女別森林総研職員と子の数

男女共同参画とワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組み

1. 推進体制の整備

19年度実績

・実施体制の整備、男女共同参画室の設置

20年度計画

・育児関連の各種制度のガイドブックの作成と周知。・裁量労働制(研究職)の導入検討・支所等推進室員の配置
・各種研修での男女共同参画意識の啓発



▲エンカレッジ推進体制

2. 育児・介護サポートシステムの整備

19年度実績

- 一時預かり所内保育の検討・所内保育室開設の検討・保育・介護等地域情報の収集・提供(HP)
- 育児・介護責任を持つ研究者に対する研究支援・PC・ソフトウェアの貸与、支援者雇用等・自宅からの文献複写等のマニュアル整備

20年度計画

- 一時預かり所内保育・所内保育室(本所、関西支所)の開設・保育室の運営と責任体制の整備・本所、関西支所以外の組織でのサポート体制の検討・保育・介護等地域情報の整備・提供
- 育児・介護責任を持つ研究者に対する研究支援(継続)

▼平成19年度研究支援状況

	女性		男性		計
	育休	他	育休	他	
PC貸与	4	5	1		10
ソフト貸与	4	6	2		12
研究補助員	3	4		1	8
委託分析	1	1			2

3. IT環境の整備

19年度実績

- ・TV会議システムの導入(本所～支所等間) 18回使用
- ・Webミーティングシステムの導入(研究所～自宅間) 6回使用

20年度計画

・TV会議システムとWebミーティングシステムの整備と普及



▲TV会議による委員会



▲公開シンポジウム(2008.1.28)

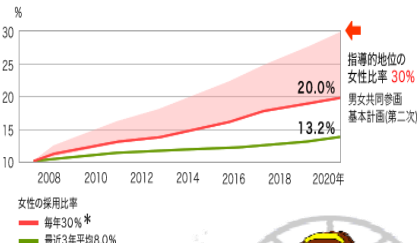
4. 次世代研究者育成支援

19年度実績

- 意識啓発(所内向け)・男女共同参画意識調査・所内説明会、推進セミナー開催
- 社会発信・第1回公開シンポジウム開催(1/28)他
- 次世代育成(他機関との交流と制度改善)・他機関への訪問・見学・情報交換(12カ所)シンポジウム等に参加(7カ所)・採用公募書類に「家族責任による研究中断期間の経歴」の明記を追加(H20～)

20年度計画

- ・意識調査集約・報告書の作成
- ・所内セミナー
- ・第2回公開シンポジウム
- ・所内職員研修に男女共同参画のレクチャーを新設(H20～)
- ・産総研DSO(ダイバーシティサポートオフィス)への参画(女性職員啓発セミナー、キャリアカウンセリング)



エンカレッジプログラムの達成目標(ミッションステートメント)

- 裁量労働制の採用(研究職)
- 出張・転勤、緊急時のサポート体制の100%整備(本支所)
- IT環境の100%整備(本～支所間、研究所～自宅間)
- 応募者・採用者の女性比率を30%(関連大学的女子学生比率と同等に)
- 家族責任が原因となる中途退職者ゼロに

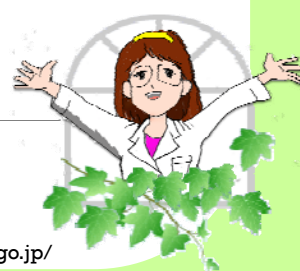
お問い合わせ



男女共同参画室
Gender Equality Office

TEL 029-829-8360, FAX 029-874-8507

E-Mail geneq@ffpri.affrc.go.jp URL: http://encr.ffpri.affrc.go.jp/



ワーク・ライフバランスを確立し、魅力あふれる研究所をめざします！ 2008